



ウガンダの野球事情について話すワフラ・ポール選手（左）＝田辺市鮎川で

# ワフラ・ポール選手が講演

## ウガンダ出身 中学生が聞き入る

ウガンダ出身で、プロ野球独立リーグ「ベースボール・ファーストリーク(BFL)」の兵庫ブルーサンダーズに所属するワフラ・ポール選手(22)がこのほど、田辺市鮎川の大塔中学校を訪れた。母国の野球事情について話し、1年生(29人)が聞き入った。国際協力機構(JICA)関西と、来季からBFLに参入する予定の「和歌山ファイティングバーズ」が企画。西アフリカの選抜野球チームが7月下旬に同市と上富田町で合宿することなどを広めようと、大塔中を含め両市町の計5校を2日間かけて回った。ポール選手は2012年、ウガンダ初のプロ野球選手として兵庫ブルーサンダーズと契約した。

大塔中では、スクリーンに写真を映しながらウガンダの様子を紹介。国内に野球場が4カ所ほどしかないこと、野球道具が高額なため日本から寄贈された古い道具を使って練習していることなどを語った。

生徒は「日本の食べ物は何が好きですか」「好きな野球選手は誰ですか」などと質問。ポール選手は「一番好きな食べ物はカツ丼。好きな野球選手は前田健太さんです」と答えていた。

ほかに、JICA関西国際協力推進員で、西アフリカのガーナに青年海外協力隊員として滞在したことがある家谷紀子さん(37)が現地の暮らしぶりについて説明。水道が整備されていないため水くみが大変な仕事であることや、子どもたちが食事作りを担っていることなどを話した。